

# 活動レポート

## 日本技術士会北海道本部 社会活動委員会

文責：社会活動委員会 委員 成田 登

### 令和6年度 北海道の福祉関係者との異業種交流会

#### 1. はじめに

社会活動委員会では、他業界の方々に「技術士」について知っていただくとともに、他業界について理解を深め、共通のテーマに沿って意見交換・交流を行い双方の活動・事業の発展や連携を図ることを目的に、毎年「異業種交流会」を開催しています。令和6年度は、北海道の福祉関係者の皆様にご参加いただき、交流の時を持ちました。

#### 2. 日程及び会場

2025年(令和7年)2月3日(月)

18:00～21:10 ホテル札幌ガーデンパレス

#### 3. 参加者(敬称略)

【福祉関係者】(6名)

本見研介(株)エムリンクホールディングス)

平井淳一(三井ヘルスサービス(株))

石田幸子(株)アルワン)

菅原里見(株)エムリンク札幌)

松塚典子(カフェ&キッチンスタジオ ぴあのぴあの)

木村ゆかり(縁結の会、結維。)

【日本技術士会北海道本部】(16名)

本部長、副本部長、事務局長

社会活動委員 8名

研究委員会より 5名

#### 4. 交流会

異業種交流会の趣旨説明と植村委員長挨拶の後、永井幹事長より福祉関係者に向けて「技術士とその仕事、社会活動委員会の活動紹介」の説明を行いました。永井幹事長と滝澤委員のつながりでお招きした方々ですが「技術士」についてはほとんどご存じなかったということで、良いご紹介の機会になったのではないかと思います。続いて、ご参加いただいた中から3名の方にご講演いただきました。

【講演1】本見氏「人口減少下の北海道における今後の福祉のミライ」

北見を拠点に多くの福祉事業を立ち上げておられる現状、モンゴル支援、急激な高齢化への対応などについてお話しいただきました。



写真-1 本見研介氏

【講演2】松塚氏「共働き家庭における『子どもたちの食』について新たな形を考える」

中学校教諭を経て、こども食堂「ゆいカフェ」を運営しておられる現状についてお話しいただきました。



写真-2 松塚典子氏

【講演 3】木村氏「心を豊かにする人口減少社会における『学び』について」

茶道教室を通じた、大人も子どもも心豊かに過ごす機会づくりについてお話いただきました。



写真-3 木村ゆかり氏

## 5. 意見交換会

ご講演いただいた後、食事を共にしながら、様々な情報交換・意見交換をすることができました。



写真-4 意見交換の様子 1



写真-5 意見交換の様子 2

私たち技術者は、発注者や施主との関わりはあるものの、インフラやシステムなど「モノ」や「コト」を直接の対象として、社会と関わっています。一方、今回参加いただいた福祉関係者の皆様は、様々な政

策、制度、支援を駆使しつつ、直接「人々」と関わりを持っておられます。異なる業界の方々を通じて、多くの学びや気づきを得たように思います。そして、施設やインフラの維持保全、避難、安全安心などに関して、技術者が「人々」に直接関与できる余地が多く残されていることも実感しました。



写真-6 意見交換の様子 3

## 6. おわりに

令和 5 年度の異業種交流会では、クリエイターの方々との交流を経て青年技術士交流委員会の方々とのコラボレーションが実現し、昨年の全国大会における T シャツや缶バッジの制作にも繋がりました。

今回も同様に、さまざまな形で連携が進むことを期待しています。エンジョイ・サイエンス研究委員会 (ES 研) のメンバーが松塚様主催の「子ども食堂ゆいカフェ」を訪れ、活動をお手伝いするとともに、ES 研とのコラボについて相談し、早速 5 月に「くらやみ実験」を開催することになりました。

「技術士」はこれまで、資格者として一般の方々との接点をあまり多く持ってこなかったのではないかと思います。それゆえ、制定から 70 年近く経過してなお「認知度の低さ」を認めざるを得ない現状にあります。このような活動を通して社会とのつながりを一つひとつ紡いでいくことによって、認知度も向上していくのではないかと期待しています。数年前より、異業種交流会に社会活動委員だけではなく研究委員会の方々にも参加いただき、一般社会との接点を増やす機会としています。これからも、積極的に社会と関わっていく技術士会活動を目指していきたいと考えています。